は山口和江さんです。 して音楽の素晴らしさを広く発信しているの 音楽をこよなく愛し、さまざまな活動を通

い思いを胸に、これまで自分を信じて進みた れから音楽をずっと続けていきたいという強 が大好きで、小学生からピアノを習い始め、 い道を歩んできたそうです。 音楽の魅力や素晴らしさを実感しました。そ と語る山口さんは、幼少のころから歌と音楽 な存在です。生きる道は音楽しかありません 「音楽は生活の中に当然のようにある身近

豊かにすることに難しさや喜びを感じること 声を出してハーモニーを感じたり、育てるこ 楽を学び、高校時代からソプラノを専門にし もできます」と話してくれました。 を身に付けて広い音域を目指し、曲の表現を 喜びや楽しみがあります。また、正しい発声 とができるところに歌う人にしか味わえない くりをすることが大切です。みんなと一緒に 基本となるので、まずはしっかりとした体づ 奥が深いものがあります。体を使った発声が ている山口さんにその魅力を聞くと「声楽は 中学時代から本格的に発声練習を始めて声



右 极しまばら



# 「夢をもう一度」を合言葉に

うそうです。 な人が多く、年齢層が幅広いので曲選びが一番気を遣 41年目を迎えました。会員の皆さんは音楽好きで熱心 「コール島原」。設立当初から音楽指導に携わり今年で 昭和52年に発足したおかあさんコーラスグループ

す」と笑顔で語る山口さん。 す。指導する中で皆さんが上達していく姿を見ると、 その曲にあった声になっているかなど、作曲者の意図 も大切です。興味を持ってもらえるような曲を選び、 に沿うような曲に仕上げていくことが私たちの仕事で し方や末永く歌える声づくり、体を使った発声がとて 今までの苦労が報われ、作り上げていく喜びを感じま 指導するうえで心がけていることを聞くと「声の出

原は毎年開催されるおかあさんコーラス九州大会をメ す」と力強く話してくれました。 言葉にして会員皆さんと一緒になって、頑張っていま ーンに日ごろの練習に励んでいますが、過去一度経験 にして曲を作り上げていくことが大切です。コール島 した全国大会への出場を目標に「夢をもう一度」を合 「合唱では、みんなが同じ方向を向いて思いを一つ

くなりたいという人たちが出演しているほか、毎年、 ました」と語る山口さん。このコンサートには、 開催のキッカケは自宅でお互いの歌を聴き合ったことから始まり 20年前から定着し毎年4月に開催されるスプリングコンサート。 歌がもっとうま 音楽を楽し

な活動を通して、これからも音楽の魅力を発信していきたいです\_ んいて、人と人とのつながりを感じることができます。このよう 楽を生きがいにして、楽しみに観に来てくれるお客さんもたくさ みに観に来てくれるお客さんの姿も多いそうです。 いますので次の世代につながっていけばうれしいです。また、音 「スプリングコンサートには教え子やその子どもたちも参加して

と笑顔で話してくれました。

# 「人生の達人」

## 山口和江さん (79)

昭和14年、7人兄弟の四女として 南島原市加津佐町で生まれ、育つ。

長崎大学卒業後、中学校の音楽教師 として約20年間勤める。音楽家とし ソロコンサートの開催や海外でのコ ートに出演したほか、退職後は主 に女性合唱団「コール島原」や有明少 年少女合唱団などの指導者として精力 的に活動し、音楽文化の向上に尽力し ている。上新丁三丁目在住。



# 未来を担う少年少女

THE SCENE

2年生から団員だった若い人が成長して一緒に指導し 力してくれる保護者が多いので助かっています。小学 子どもたちに音楽の指導をしている山口さんは、 言葉を語ります。 てくれるようになったことがうれしいです」と感謝の どもたちからいつも元気をもらっています。熱心に協 が所属している「有明少年少女合唱団」。設立当初から 平成12年に結成され、有明地区の小学生から高校生

クやあいさつなどの礼儀を身に付けてほしいです」と です。そして、みんなで一緒に頑張ることでチームワー 互い影響し合って成長し、音楽を続けて行ってほしい す。音楽の楽しさや素晴らしさをいっぱい感じて、お その能力にはいつも驚かされ、将来の可能性を感じま 木来を担う少年少女に向けた思いを話してくれました。 「子どもたちは覚えが早く、動きもすごいものがあり、